

愛育センター園庭整備について



【整備経過】

・昭和56年（1981年）の開設以来、障害のある子どものための施設として運営されてきた当施設では、長年の利用により園庭遊具の老朽化や破損が進行し、使用可能な遊具が減少するという課題を抱えていました。また、利用者からは新たな遊具の導入や、誰もが共に遊べるインクルーシブな環境の整備を求める声が強まっていました。

・こうした状況の中、令和7年1月に、「株式会社アイ工務店」からの企業版ふるさと納税による寄附金を活用した整備が決定し、令和7年度からは、ブランコをはじめとするインクルーシブ遊具の設置工事を開始するとともに、整備の経過などを広く周知するためのPR事業を実施するなど、施設の環境改善と情報発信を一体となって推進しています。

・また、国際的な女性ボランティア団体である「国際ソロプチミスト旭川」から、この度の園庭整備に共感いただき、児童の教育支援、地域支援として、園名板にガーデンベルの寄贈がありました。

【園庭整備における基本理念】

「周辺地域との調和を図りながら五感で季節を感じることができ、遊びを通した適切な療育環境の確保により健やかな子どもの成長と本市のインクルージョンの推進を図る」

【整備内容】

1 インクルーシブ遊具への更新

(1) 既存遊具の撤去

- ・木製滑り台
- ・ブランコ（踏板なし）
- ・回転ジャグルジム
- ・鉄棒
- ・うんてい

(2) 遊具の新設

- ・滑り台（築山も造成）
- ・ブランコ（ボックス型及び踏板並置型）
- ・屋根付き抗菌対策砂場

2 外構ほか整備

(1) 安全性への配慮

- (2) フェンス、門扉などの付帯設備の整備
- (3) 周回できる遊歩道の設置
- (4) 季節感のある植栽
- (5) 地域環境との調和

【オープニングセレモニーの開催】

■日 時：令和8年5月27日（水）10：30～

■場 所：旭川市春光2条7丁目2番14号

愛育センター園庭 ※雨天時はセンター内ホール

愛育センター園庭写真

【before】 工事前の状況と劣化した遊具



【after】 全ての遊具を撤去し、新たな園路とインクルーシブ遊具などが設置されました。

